
2-2 エリア別方針

成東地区

水稻については良質米の安定生産を目標に土地利用集積を図り省力化経営を推進します。野菜については、ネギをはじめとした指定野菜やイチゴを主体に低コスト化、集出荷流通の合理化により収益の高い経営を目指します。

このことから基盤となる優良農地を保全し、土地条件・経営条件等を考慮して、地域に適合した土地利用を進めるとともに、農業経営体の育成や担い手の確保を図っていきます。

山武地区

露地野菜を中心に施設野菜、水稻、花き、果樹、畜産の振興を図ります。また、有機農業に取り組む法人があることから、有機野菜の生産が盛んであり、新規就農者の確保にもつながっているため、更なる有機農業の推進を図ります。

営農環境の充実を図り中核的農家の育成や土地利用集積・農作業受委託等により経営規模の拡大を進めるなど、安定した生産性の高い農業に誘導し、生産基盤の整備を推進するとともに、農業経営体の育成や担い手の確保など将来農業を支える後継者対策を図ります。

松尾地区

水稻、野菜、畜産等を重点作目と位置付け、安定した生産性の高い農業に誘導します。また、生産基盤の整備を推進するとともに、農作業の機械化・省力化・効率化・低コスト化を図り、農地の利用集積等により土地利用型農業の安定化を図ります。今後は農業経営体の育成や担い手の確保など将来農業を支える後継者対策を図ります。

蓮沼地区

水稻・ネギ・トウモロコシの3品目を重点作目と位置付け、安定した生産性の高い農業経営を推進します。また、農業経営体の育成や担い手の確保など将来農業を支える後継者対策を図ります。